



代表取締役社長 東 郁男

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
日頃は温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社第21期の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

【産業翻訳を通して】

当社は本年4月28日をもちまして、大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場に翻訳業界ではじめて上場いたしました。  
日本経済のグローバル化および外国企業の国内参入に伴い、産業翻訳の需要はますます増大しております。当社は、特許、医薬、工業、金融の4つの専門分野を中心に総合的かつ専門的な翻訳サービスをご提供しております。  
「産業技術翻訳を通して国内・外資企業の国際活動をサポートし、国際的な経済・文化交流に貢献する企業を目指す」という経営理念の下、役職員一同、常に「顧客満足度の最大化」を念頭に営業活動を行っており、国内・外資企業の国際活動をご支援させていただきます、数多くの企業様よりご愛顧いただいております。

【当中間期の業績概況】

当中間連結会計期間のわが国の経済は、企業収益が好調な改善を見せるなか、設備投資の増加が続き、個人消費も緩やかに拡大するなど、景気は底堅い回復基調のうちに推移いたしました。  
このような環境の中、当社グループではいっそう多様化・高度化する顧客ニーズにお応えるために、品質・スピード・価格という3つの提供価値を墨守し、業界内のシェアアップに努めてまいりました。  
この結果、売上高については主に自動車関連企業および外資系製薬企業等からの受注が増加したことにより、1,913百万円（前年同期比19.6%増）となりました。また、営業利益は149百万円（前年同期比26.3%増）、経常利益は135百万円（前年同期比14.1%増）、中間純利益は73百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

【今後の事業展開】 - 対象分野と営業地域の拡大 -

今後の経済の見通しにつきましては、良好な景気動向の後押しを受け、当面は引き続き堅調に推移するものと予測しております。  
このような状況のもと当社グループでは、既存4分野の深耕により国内におけるシェアアップを図るほか、市場規模や収益性を考慮のうえ、新たな分野での翻訳業務につき事業展開を行ってまいります。日本からの輸出品目として従来から主要な地位を占めていた工業製品等のハードウェアだけでなく、MANGA（コミック）・ゲームなどのメディア／コンテンツ系ソフトウェア等の輸出も拡大傾向にあることから、今後これらの翻訳需要についても増加していくものと見込んでおります。  
また、米国カリフォルニア州サンマテオ郡に現地子会社として「HC Language Solutions, Inc.」を設立し、付近のシリコンバレーに集積するバイオ・IT産業の翻訳需要にも応えていく考えです。  
今後、更なる企業価値の向上を目指し、より透明性の高い経営、適切なIR活動を行うことにより、株主、顧客、翻訳者、従業員すべてのステークホルダーの満足度向上に努めてまいります。  
株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2006年12月

会社概要 (2006年9月30日現在)

商号 株式会社 翻訳センター  
設立 1986年4月  
資本金 386百万円  
従業員数 153名（連結）  
事業内容 翻訳業  
グループ会社 株式会社国際事務センター

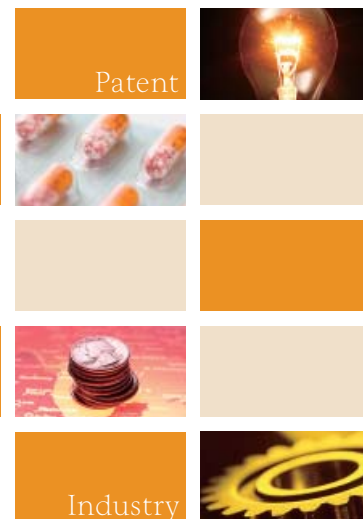
株式会社 翻訳センター

[www.honyakuctr.com](http://www.honyakuctr.com)



IRに関するお問い合わせ先

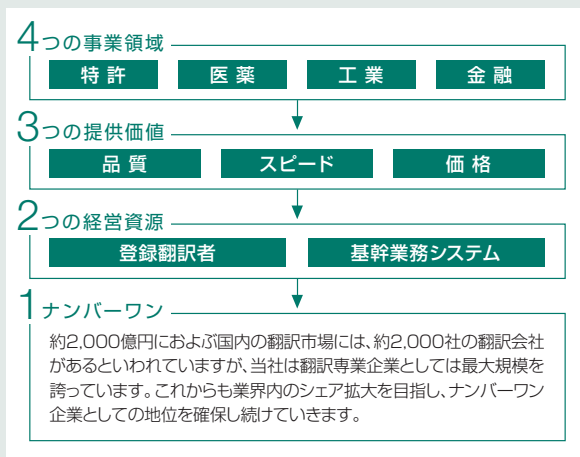
本社 〒541-0046  
大阪市中央区平野町2丁目5番8号  
平野町センチュリービル9F  
Tel : 06-6204-1640  
e-mail [info@honyakuctr.co.jp](mailto:info@honyakuctr.co.jp)



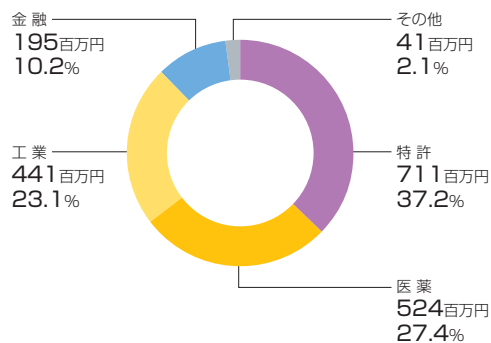
株式会社 翻訳センター  
第21期 中間報告書

2006年4月1日～2006年9月30日

当社の主力事業領域は、語学力だけでなく技術知識が必要とされる4つの専門分野に分かれています。グローバル展開を支援する翻訳サービス企業として、品質・スピード・価格という本来トレードオフの関係にある3つの価値の最適化を目指しています。これを支えているのが、専門分野ごとに区分された約2,600名の登録翻訳者と、年間約30,000件の案件を管理する基幹業務システムです。



#### ◆ 分野別売上割合



## Financial Data

#### ◆ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	前中間期 (2005.9.30現在)	当中間期 (2006.9.30現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	974	1,591
現金及び預金	459	695
受取手形及び売掛金	423	478
有価証券	0	300
その他	91	117
固定資産	200	215
有形固定資産	31	40
無形固定資産	23	16
投資その他の資産	145	158
<b>資産合計</b>	<b>1,174</b>	<b>1,807</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	456	536
買掛金	242	272
未払金	45	68
未払法人税等	49	74
賞与引当金	47	66
その他	71	54
固定負債	88	104
退職給付引当金	27	33
役員退職慰労引当金	61	70
<b>負債合計</b>	<b>544</b>	<b>640</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	630	1,166
資本金	233	386
資本剰余金	42	276
利益剰余金	354	504
<b>株主資本合計</b>	<b>630</b>	<b>1,166</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,174</b>	<b>1,807</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### ◆ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

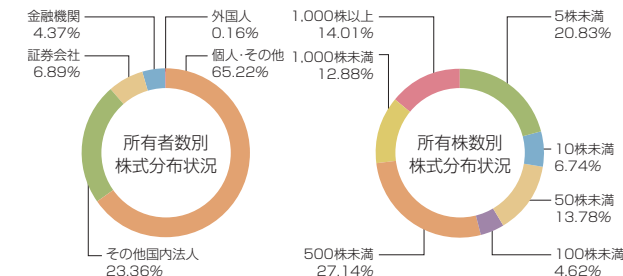
	前中間期 (2005.4.1~ 2005.9.30)	当中間期 (2006.4.1~ 2006.9.30)
売上高	1,598	1,913
売上原価	845	1,006
売上総利益	753	907
販売費及び一般管理費	634	757
営業利益	118	149
営業外損益	0	△ 14
経常利益	118	135
特別損益	0	0
税金等調整前中間純利益	118	135
法人税・住民税及び事業税	45	70
法人税等調整額	18	△ 8
中間純利益	53	73

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## Shareholder Data

#### ◆ 株式の状況 (2006年9月30日現在)

発行可能株式総数 51,400株  
発行済株式総数 12,850株  
株主数 1,991名



#### ◆ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当を行う場合 毎年9月30日  
(その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)

公告方法 電子公告の方法により行います。  
ホームページアドレス [www.honyakuctr.com](http://www.honyakuctr.com)  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都港区芝3丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 (電話お問合せ 郵便物送付先)  
東京都杉並区和泉2丁目8番4号 (〒168-0063)  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
各種手続用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
○フリーダイヤル 電話 0120-87-2031  
○ホームページアドレス  
[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

上場証券取引所 大阪証券取引所  
ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」

証券コード 2483

その他旧情報については、  
ホームページをご覧ください。

[www.honyakuctr.com](http://www.honyakuctr.com)

